

オクラ

—— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作型・病虫害名													
普	通				●▲ は種 定植								
疫	病												
う	ど												
カ	メ												
ア	ブ												
オ	オ												
ハ	ス												
モ	ン												
ヨ	ト												
ウ	病												
シ	類												
ム	類												
シ	ガ												
コ	ウ												
ト													

疫病

留意事項

- 1 梅雨後期など多雨で発生が多い。
- 2 QoI剤<<1 1>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 定植時、株元を高くして浸冠水を避け、排水に努める。
- 3 わらやポリフィルムでマルチングする。
- 4 肥料切れしないように肥培管理に注意する。
- 5 被害株を早めに抜きとり、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 6 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ユニフォーム粒剤](#) <4> <<1 1>>【9kg/10a 株元散布 前日/3回】

うどんこ病

留意事項

- 1 QoI剤<<1 1>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 窒素質肥料の多用を避ける。
- 2 高温乾燥時に発病しやすい。また、生育後半に発病しやすい。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) <<1 1>>【2000倍 前日/2回】
 - ・ [アフエットフロアブル](#) <<7>>【2000倍 前日/3回】
 - ・ [トリフミン水和剤](#) <3>【5000倍 前日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [モレスタン水和剤](#) <M10> 【3000倍 前日／3回】

カメムシ類

防除方法

- 1 周辺の雑草から飛来し加害する種もあるので、生育初期から除草を行う。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3A> 【1000倍 前日／3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) <3A> 【2000倍 前日／3回】

アブラムシ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) <4A> 【9kg／10a 株元散布 生育期（収穫開始14日前）／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4A> 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3A> 【1000倍 前日／3回】
 - ・ [コルト顆粒水和剤](#) <9B> 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [ベネビア0D](#) <28> 【2000倍 収穫開始3日前／3回】
 - ・ [ウララDF](#) <29> 【2000倍 前日／3回】

オオタバコガ

留意事項

- 1 チョウ目幼虫の加害には、フタトガリコヤガ、ワタノメイガ等があるが、合わせて捕殺を行う。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 幼虫の捕殺は、被害軽減効果大きい。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフーム乳剤](#) <6> 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <13> 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) <UN> 【1000倍 前日／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ B T 剤 < 1 1 A > (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) < 3 A > 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 < 1 3 > 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) < U N > 【1000倍 前日／2回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) < 1 5 > 【2000～4000倍 前日／2回】
 - ・ B T 剤 < 1 1 A > (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

注 1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注 2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。